



交通安全 だより

No. 250 発行 2025. 1

公益財団法人 **新潟県交通安全協会**
(新潟県交通安全活動推進センター)
新潟市中央区新光町5番地4 TEL (025) 285-3755

新潟県交通安全協会

<https://www.niigata-ankyo.or.jp>



新年のごあいさつ

(公財)新潟県交通安全協会
会長 **小林 宏一**

明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

また、皆様には、交通安全協会の各種活動に深いご理解とご支援をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

さて、近年、交通事故は減少傾向にありますが、今なお多くの尊い命が悲惨な交通事故により失われていることに変わりはありません。

特に、本県では、交通事故死者数に占める高齢者の比率が高く、歩行中や自転車乗用中の高齢者が亡くなる事故が多数発生していること、依然として飲酒運転による重大事故が発生していること、チャイルドシートや後部座席のシートベルトの着用も徹底されているとは言い難い状況にあること、

また、信号機のない横断歩道における車両の一

時停止率や自転車乗用中のヘルメット着用率の全国調査において、ワースト1は返上したものの、未だ全国平均には至らないことなど、多くの課題が残されています。

これらの状況から、当協会では「安全で快適な交通社会の実現」に向け、

- 高齢者の交通事故防止
- 歩行者及び自転車の安全確保
- 飲酒運転の根絶

○ シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底を活動重点に掲げ、各地区交通安全協会とともに、関係機関・団体の皆様と緊密な連携を図りながら、交通安全教育や交通安全広報啓発活動を展開することとしています。

県民の皆さまお一人お一人には、“交通事故を起こさない”“交通事故に遭わないよう気をつける”という思いをお持ちいただくとともに、交通安全活動へのより一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして幸多い年でありますよう、心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和6年度交通荣誉賞 「緑十字金章・銅章」等

緑十字金章

交通安全功労者

久住 久夫 様(新潟西)	丸山 隆夫 様(新潟東)	幡本 隆美 様(西蒲)
外山 興 様(西蒲)	佐藤 實 様(江南)	木津 勇 様(加茂)
高橋 昭子 様(加茂)	本間 範子 様(胎内)	高橋 洋司 様(見附)

緑十字銀章

優良運転者

瀧澤 邦夫 様(十日町)

緑十字銀章

交通安全功労者

丸山 隆夫 様(新潟東)	幡本 隆美 様(西蒲)
佐藤 實 様(江南)	木津 勇 様(加茂)
本間 範子 様(胎内)	高橋 洋司 様(見附)
石井 誠一 様(阿賀野)	野本 正夫 様(長岡)
渡邊 秀子 様(五泉)	滝澤 文雄 様(十日町)

交通安全優良団体等

公益財団法人

優良団体 十日町地区交通安全協会
水沢支部

優良交通安全協会

一般財団法人
五泉市交通安全協会

優良事業所

株式会社 東プロ(新潟市西区)
株式会社 巴山組(阿賀町)

優良安全運転管理者協議会

与板地区安全運転管理者協会

新春のお慶びを申し上げます

地区交通安全協会会長

斎藤 敏之(新潟中)	畔柳 光男(西蒲地区)
星山 洋一(新潟東)	小柳 孝礼(燕市)
古俣 侃(新潟西)	片野 正之(加茂地区)
中野 勇(江南地区)	小林 辰美(見附地区)
佐藤 範弘(新潟北)	細川 恭一(長岡地区)
向山 廣太郎(佐渡地区)	福王寺 勝(栃尾)
櫻井 賢七(新発田地区)	倉品 浩(与板地区)
加藤 悦郎(村上地区)	阿部 正行(小千谷地区)
平野 庄一(胎内市)	貝瀬 甲一(魚沼市)
石栗 一久(阿賀野市)	佐藤 和男(南魚沼)
齋藤 吉平(東蒲原郡)	玉垣 哲郎(十日町地区)
川口 幸平(五泉市)	今井 貢(柏崎地区)
鬼島 基伸(秋葉区)	橋本 洋一(上越)
加藤 敏敦(三条市)	小池 義徳(妙高地区)
風間 繁紀(新潟南区)	後藤 幸洋(糸魚川地区)



年頭ごあいさつ

新潟県知事

花角英世

令和7年の年頭に当たり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

本年も、県民の皆様の安全と安心を確保することを第一に、経済・社会に活力ある新潟県、子育てに優しい暮らしやすい新潟県を目指し、「住んでよし、訪れてよしの新潟県」の実現に向け最大限の取組みを進めます。

交通安全対策につきましては、交通安全思想の普及定着や道路交通環境の整備等を推進することにより、全ての県民の皆様が安心して利用できる安全で快適な交通社会の実現を目指してまいります。さて、県内における交通事故の発生状況につきましては、昨年11月末現在で、前年に比べ、発生件数、負傷者数とも減少しましたが、死者数は横ばいとなっています。

いまだ多くの尊い命が交通事故により失われており、特に交通事故死者に占める高齢者の割合が約7割に達しているほか、横断歩道で歩行者が被害に遭う事故の発生が多く発生するなど、課題が山積しています。また自転車利用者のヘルメット着用が未だ浸透しておらず、さらに自転車運転中の「ながらスマホ」対策など、新たな課題も生じています。

これらの課題を解決し、悲惨な交通事故をなくすためには、貴協会をはじめ、日々、交通安全活動に御尽力いただいている皆様のお力添えと、県民一人一人の御理解が不可欠です。

県といたしましては、引き続き、貴協会並びに各地区交通安全協会をはじめとした関係機関・団体と緊密な連携を図り、交通事故防止に取り組んでまいりますので、今後とも御理解と御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

終わりに、皆様が交通事故のない安全で安心な1年を過ごされますことをお祈り申し上げ、新年の御挨拶といたします。



年頭ごあいさつ

新潟県警察本部長

滝澤依子

新年、明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えになられましたこととお慶び申し上げます。

公益財団法人新潟県交通安全協会、各地区交通安全協会の皆様には、昨年中、交通安全への取組をはじめ、警察業務の各般にわたり深い御理解と御支援を賜りましたことを、心より御礼申し上げます。

また、県民の皆様には、日頃より県警察の交通事故防止活動に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、県内では、近年、交通事故の発生件数は減少傾向で推移しておりますが、死者数に占める高齢者の割合が半数以上を占める状況が続いているほか、高齢運転者による事故や、高齢の歩行者が被害に遭う事故が依然として多く発生しております。

また、改正道路交通法の一部施行により、自転車の交通事故防止のための規定が整備され、昨年11月からは、自転車運転中の携帯電話使用等に対する罰則が強化されたほか、自転車の酒気帯び運転が罰則の対象とされました。

喫緊の課題である高齢者の交通事故防止に向けた取組に加え、法改正の対象となっている自転車は、年齢を問わず県民の身近な乗り物であることから、自転車乗車用ヘルメットの着用促進と合わせ、ルールの周知広報とその浸透が課題であると認識しております。

県警察といたしましては、悲惨な交通事故を1件でも減少させるため、今後とも貴協会をはじめとする関係機関・団体の皆様方と一層の連携を図りながら、各地域における交通事故発生状況に即した効果的な交通事故防止対策を推進していくこととしております。

皆様におかれましても、今後とも地域に根ざした交通安全活動について、引き続き御理解と御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、交通安全協会のますますの御発展と、県民の皆様のお健勝を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

その車に いくつ入っていますか？



近年の異常気象で「ゲリラ豪雨」ならぬ「ゲリラ豪雪」がいつ、どこで起きてもおかしくありません。

”もしも”に備えて車の中に物を備えるとともに、トラブルが起きたときの知識も備えておきましょう！

スノーブラシ 	軍手・長靴 	スコップ 
牽引ロープ 	水・食料 	毛布・カイロ 
非常用トイレ 		ガソリン残量 

雪にはまって動かない！

タイヤが空回りしないよう **ゆっくり発進** が基本。以下の方法で脱出にチャレンジしましょう。

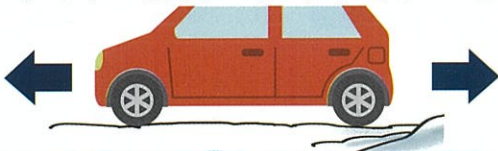
スコップで、タイヤ周りの雪を取って脱出



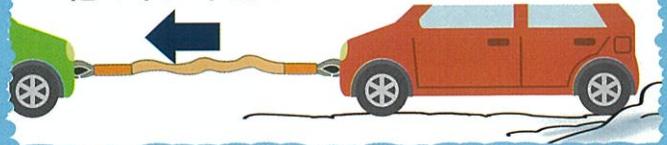
市販の脱出用の板や段ボール等を敷く
車内マットも可。巻き込みや後方への飛び出しに注意！



少しずつ前後に動き、雪を固めて脱出



他の車に牽引してもらって、脱出



大雪で立ち往生した！

それでも動かない時や渋滞に巻き込まれた時、救助が来るまで、以下の方法を実施しましょう。

ハザードランプを点け、追突を防止



「#9910 道路緊急ダイヤル」へ連絡



車の立ち往生情報を連絡すると、道路管理者が除雪車等を手配してくれます。事故の発生は110番通報しましょう。

マフラー周りに雪が積もったら除雪する



注意

排気口がふさがれると、車内に排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒になってしまいます。

雪に覆われたら、エンジンを切る



マフラー周りの除雪ができない、車の周囲が雪で覆われた時はエンジンを切ります。定期的に換気をし、暖を取って救助を待ちましょう。

横断歩道停止率
自転車ヘルメット着用率

2023年は**最下位!**
2024年どうなった?



目指そう!
全国上位!



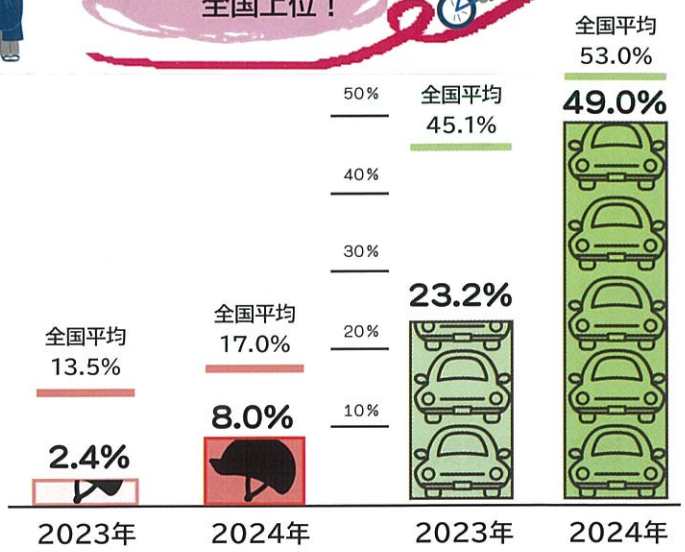
2024年は、どちらも **最下位から脱出**

新潟県の

ヘルメット着用率 **8.0%** **44位**

横断歩道停止率 **49.0%** **29位**

2024年は「止まってくれてありがとう!」
「ヘルメットかぶって安心!」がたくさんになりました。



令和7年使用

交通安全 スローガン



(運転者に呼びかけるもの)

守ろうよ チャイルドシートで 子の未来



(歩行者・自転車利用者に呼びかけるもの)

危険です ながらスマホで 踏むペダル



(子どもたちに交通安全を呼びかけるもの)

青だけど 自分の目で見て たしかめて



ポスター描いて
みませんか?

毎日新聞社では令和7年の交通安全啓発用ポスターを募集しています。左のいずれかのスローガンを、原文のまま使用してポスターを制作してください。

締切
令和7年 1月31日(金)
消印有効

詳細は

毎日新聞社 交通安全
ポスターデザイン募集

で検索して下さい。

交通安全協会
世界の願い 交通安全
(公財)新潟県交通安全協会

新潟県交通安全協会
賛助会員 の皆様に、

- 賛助会員証
 - 交通安全カレンダー
 - 交通安全だより
- をお送りしています。

👉 賛助会員証

賛助会員のご紹介

新潟県交通安全協会の交通安全活動に賛同ご協力いただいている賛助会員を順次、ご紹介します。(敬称略)

- 新潟総合警備保障株式会社
- 新潟名鉄運輸株式会社
- 日本通信株式会社
- 株式会社ビジネスソリューション新潟
- 株式会社廣瀬
- 株式会社文武堂
- 北越物流株式会社
- 株式会社北陸ジオテック
- 丸周運送株式会社
- マルソー株式会社
- 柳則行法律事務所
- ヤマト運輸株式会社北信越統括

第3回 交通安全 高齢者 自転車大会



令和6年10月19日
新潟市黒埼地区総合
体育館で開催されました。

- 団体の部
- 1 新潟西チーム
 - 2 新潟北チーム
 - 3 西蒲チーム
- 個人の部
- 1 福原 浩次さん
 - 2 揖斐 隆さん
 - 3 浅妻 泰介さん

二輪車安全運転指導員 養成講習会・資格審査会



令和6年10月26日
新潟県運転免許センター(聖籠町)で開催。
新たに9名の指導員が誕生しました。
バイクの交通事故防止のため、指導員として活躍されます。